

ぐるんとびーが大切にしていること

★ 最期まで生ききる



← 末期癌の利用者さんの「死んでもいいからプールに行きたい」という願いを実現。ぐるんとびーの原点です。

本人の「やりたい」に対して、できない理由ではなく、できる方法を諦めずに考え続けることで、人生の最期まで生ききることに徹底的に伴走します。

★ みんなの2つ目のリビング



利用者さんの中には、ぐるんとびーにふらっとコーヒーを飲みに来られる方もいます。時にはスタッフの悩みをお相談したり、まるで家族がリビングに集まってきているよう

★ 住み慣れた自宅で地域住民として生きる



これは、介護が必要になったからといってなくなってしまうものではありません。行きつけのスーパーなど住み慣れた地域へ出かけたり、地域との繋がりを持ちながら暮らしています。

★ 今の“今”を生きる



誰もががそうであるように、今この時は“今”しかありません。日々の生活の中で、季節を感じたり、ちょっとした楽しみを見つけながら、“今この瞬間”を大切にしながら暮らしています。

メディア・取材



アメリカの民間財団『Commonwealth Fund』さまより、取材のためご来訪いただきました！

事業所の空き情報

放課後等 デイサービス HERO'S HOUSE 「ヒーローの家」 空き：△	看護小規模 多機能型 居宅介護 ぐるんとびー ホーム 空き：○	看護小規模 多機能型 居宅介護 ぐるんとびー 駒寄 空き：△
ぐるんとびー ケアプラン センター 空き：△	ぐるんとびー 訪問看護 ステーション リハ：○ 看護：○	定期巡回型随時 対応型 訪問介護・看護 ぐるんとびー 空き：○

ってどんな場所？

Grundtvig, Inc

「通い」「泊まり」「訪問」を通じ、より充実した医療ケアで地域での暮らしを支えます



1 看護小規模多機能型居宅介護
ぐるんとびー駒寄
Tel 0466-51-7275

ぐるんとびー駒寄のサテライト。
UR団地の6階へお上がりください！

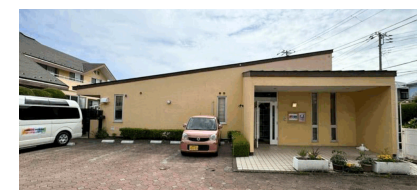


2 看護小規模多機能型居宅介護
ぐるんとびーホーム
Tel 0466-54-7006

看護・介護・ケアマネの専門チームが連携し、住み慣れた家での生活を支えます



3 ぐるんとびー訪問看護ステーション
Tel 0466-54-7099
4 ぐるんとびーケアプランセンター
Tel 0466-21-9091
5 定期巡回型随時対応型
訪問介護・看護ぐるんとびー
Tel 0466-21-9110



6 放課後等デイサービス
HERO'S HOUSE 「ヒーローの家」
Tel 0466-21-9070



7 鎌倉でグループホームを
建設中！2026年8月オープン予定

介護・看護・リハ・ビリ
のご相談は
ぐるんとびーまで！

一緒に働く仲間を募集中！見学もお気軽に！
tel. 0466-21-9090



日常の発信は
こちらから



発行元：株式会社ぐるんとびー 神奈川県藤沢市大庭5682-6パークサイド駒寄3-612

世界をひとつの家族に

ぐるんとびーとまちかど新聞

サイトはこちらから



ぐるんとまちかど新聞は「世界をひとつの家族に」をテーマに、ぐるんとびーでの日常や地域のことを発信していきます。

2026年
5月号
VOL.76



今月のぐるんとダイアリー

春、満開。今年もお花見に！



桜の下で肩を並べ、季節を分かち合う大切な時間。体調と向き合いながら、タイミングが合う日には思い切って挑戦。

看多機、みんなでパン作り！



鎌倉ベーカリーさんご協力のもとみんなでパン作り！地域との繋がりを感じながら、一緒に手を動かして一緒に食べる！

大切な人へ、手を合わせに。



大切な旦那様と、ご友人の眠る場所へ手を合わせに。以前から「いきたい！」と話していたので、ようやく足を運ぶことができました

放課後デイ、ピニャータからお菓子をゲットせよ！



お菓子が飛び出す魔法のくす玉ピニャータ！この日のために、1ヶ月前からコツコツとスタッフのさらちゃんが準備してくれました。狙うは、お菓子が弾け飛ぶ瞬間のみんなのびっくりした顔！

子どもとごちゃませ！おやきづくり



放課後デイと看多機コラボ！年齢問わずごちゃ混ぜで同じことに取り組む。そして美味しく食べて過ぎて食べ過ぎてしまう人が続出・・・(笑)

ご利用者インタビュー



安心できるこの場所で、地域と繋がり続ける毎日。

突然の病で倒れ、環境が大きく変わったあの日から、ぐるんとびーと出会って約2年。駄菓子屋の店長をしたり、毎日掃除してくれたり・・・ぐるんとびーでの暮らしについて、ご本人にお話を伺いました！



退院2日目！ぐるんとびーで料理中の山元さん↑

ぐるんとびーに来るまで

私はもうすぐで85歳になります。ぐるんとびーに来たのは、だいたい2年くらい前ですね。定年まで40年間、化学製品を作ったり環境に関わる仕事をずっとしていました。もともと磯子の方に住んでいて、マンションの管理組合の理事長や自治会長を長年やって、地域のために色々動くことが生きがいでもありました。でも、ある地域の会合中にふっと倒れてしまって。救急車で運ばれて、そこで認知症だと診断されました。そのまま2ヶ月くらい入院することになってしまったんです。退院した後、介護施設ではない場所を探している中で、縁があつてぐるんとびーと出会い、ここでの生活が始まりました。

山元さんにとっては・・・「衣・食・住・掃除！」

よく皆さんに「いつもお掃除してくれてありがとう」って言われるんですけど、私にとっては毎日の習慣で、もう「生まれつき」みたいなものなんです。昔、祖父から「朝晩ちゃんと掃除をするように」って教えられたのが、今でもずっと日課になっています。自分の家の前だけでなく、ぐるんとびーに続く道や通路も掃除しています。あそこから家までの道は「自分の庭」だと思ってますから。「掃除をさせてほしい」とぐるんとびーに相談したら、ほうきとちりとりをくれて「掃除係」を任せてもらっているんですよ。雨が上がった後なんかは落ち葉がどうしても気になるから、すぐ掃除しに行きたくなっちゃいますね。それに、足も手も使うから自然と運動になっているしありがたい。でも自分のためだけでなく、ここを通る地域の人がみんな気持ちいいと思ってくれたら僕はそれでいいんですね。



掃除をしてきている様子↑



駄菓子屋店長の時の様子←



ぐるんとびー目の前のアパート↑

すぐ近くにある安心感

今はぐるんとびーのすぐ目の前にあるアパートで暮らしています。上の階にはぐるんとびーのスタッフさんが住んでいて、同じ階には別の利用者さんもいるから、すごく心強い「セーフティネット」の中で生活しているような感覚ですね。一人暮らしですけど、何かあっても「電話を一本すれば、すぐに来てくれる」という安心感があります。万が一転んだりしても、すぐ駆けつけてくれる人がそばにいるっていうのは、何よりの支えです。それに今は、毎週駄菓子屋の「店長」もやらせてもらっているんです。お金を受け取ってお釣りを渡したりするだけでも頭を使うし、買いに来る子どもたちと触れ合ったりするのが毎日の楽しみで、私の新しい生きがいになっていますよ。

元ザ・ブルーハーツ 梶原徹也さんと一緒に！

リズムで遊ぼう！親子で楽しむリズム・ワークショップ

5月17日(日)11:00～12:00 早めのご来場にご協力ください！

湘南大庭市民センター ¥500 (1名あたりの材料費) ※前回から金額に変動あり

2026
5/17

